

記者発表資料
平成27年9月15日
担当:公益財団法人仙台市産業振興事業団
新事業推進課
直通:022-724-1212

電力記者クラブ 御中

産学連携セミナー「第99回寺子屋せんだい」

「3Dプリンタで拓く ものづくりの可能性」

受講者募集！

主催：(公財)仙台市産業振興事業団

<開催概要>

寺子屋せんだいは、大学や高専の先生等を講師にお迎えし、最先端の技術や産学連携の事例などを、分かりやすく話題提供いただくセミナーです。

今回は、「3Dプリンタで拓く ものづくりの可能性」と題し東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科 教授/仙台市地域連携フェロー 坂手 勇次氏と FabLabSENDAI-FLAT デザイナー/エンジニア 大網 拓真 氏にご講演いただきます。FabLab SENDAI-FLATを会場に、3Dプリンタの実演も交えながら行います。是非お気軽にご参加ください。

◆日時

平成27年10月19日（月）18時00分～（1時間程度の講演終了後、先生方を交えた交流会を行います）

◆会場

FabLab SENDAI-FLAT（仙台市青葉区一番町2-2-8 IKIビル4-1）

◆対象

「3Dプリンタやレーザーカッターの用途や事例を知りたい企業の方」

「実際に3Dプリンタを使ってみたい企業の方」

「大学の先生等や仙台経済圏の企業技術者等とのネットワークを作りたい方」等40名(先着順)

◆受講料

1,000円（当日お支払い、交流会費込み）

◆内容

講演1 | デジタル工芸技法の研究（東北工業大学 坂手 勇次 氏）

工業製品のラピッドプロトタイピングで使われることが多い3Dプリンタやレーザーカッターですが、木や紙や石など、古くからある素材への応用について商品化を見据えて行った研究事例をご紹介します。

講演2 | データは国境を超える～距離を縮めるデジタルファブ리케이션（FabLab SENDAI-FLAT）

大網 拓真 氏)

3Dプリンタを始めとするデジタル工作機械が可能にした、アムステルダムとインドネシアの2カ国間を繋ぐ義足開発プロジェクト。世界中に点在し、データを使ったモノづくりを行う市民工房“ファブラボ”を渡り歩いた経験から、デジタルファブリケーションの様々な活用事例を紹介します。

トークセッション | 3Dプリンタでどこまで出来るか

3Dプリンタがあれば、ものづくりは解決…という訳ではありません。3Dプリンタのメリット・デメリット、そして将来性について、講師の2人に本音で語っていただきます。3Dプリンタの実演も行います。

◆ 講師略歴

○東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科 教授/仙台市地域連携フェロー
坂手 勇次 氏

京都工芸繊維大学工芸学部意匠工芸学科卒業。工学士。オムロン(株)広報宣伝部、デザイン部、経営戦略部、技術本部企画室長、オムロン F A ストア(株)代表取締役社長などを経て、平成25年4月より東北工業大学教授。平成26年4月フェロー就任。



○FabLab SENDAI-FLAT デザイナー/エンジニア 大網 拓真 氏

九州大学芸術工学部卒業。オランダのファブラボ・アムステルダムにて市民工房ファブラボと出会い、同工房にてインターンを経験する。2014年にファブラボコミュニティが運営するFab Academy卒業。誰もがモノづくりに挑戦できる環境を目指しファブラボ仙台に携わっている。



◆ 申込方法

当事業団のホームページ (<http://www.siip.city.sendai.jp/>) の申込フォーム、または「第99回寺子屋 せんだい申込」と明記し、氏名・所属団体名・部署（役職）・電話番号・メールアドレスを明記の上、メールかFAXでお申し込みください。（様式自由）

※ お申込でご記入いただいた個人情報につきましては、当該セミナーの受講者名簿の作成および受講または受講後のフォローアンケートに関する連絡のほか、公益財団法人仙台市産業振興事業団および仙台市主催の各事業情報提供の目的のみに使用いたします。

◆ 申込締切 平成27年10月15日（木）まで

◆ お申込み・お問合せ先

公益財団法人仙台市産業振興事業団
地域産業振興部新事業推進課 担当：吉田・望月
〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階
TEL：022-724-1212(代) / FAX：022-715-8205
E-mail：shinjigyo@siip.city.sendai.jp
URL：http://www.siip.city.sendai.jp